

想 作 天 文 学 [Ⅲ]

重 力 兵 器 グ レ ー ザ ー 砲

測地レーザー網によって、文明圏内宇宙空間地図を改訂する作業を進めていた宇宙地理院の研究者が、最初に異常に気付いた。我が文明圏の内部空間でリーマン曲率が急速に増加しているのである。原因は、重力波望遠鏡を使って天体観測をしている天文学者によって明らかになった。オリオン座の方向に拡がった重力波源が出現して、そこから届く重力波によって附近のエネルギー密度が急に高まり、リーマン曲率を増大させていたのである。それにしても、この源は奇妙である。観測位置を変えていくと、源の方向や模様が不自然な動き方で変わる。何かレンズを通して見ているような感じた。人工的なものかも知れない。こうして観測を続けている間にも、附近の曲率は刻々と増大している。大異変の前兆か。緊急調査・対策会議が設けられた。そこで徐々に明らかになってきた真相とは……。

人類が地球という楽園をとび出してダイソン型文明(本シリーズ [I]: 1月号)を作りあげてからすでに何千年かが経過した。文明の発展速度はますます加速度を加え、今や太陽の全放射エネルギーを利用しても、エネルギー、資源共に不足がちになってきていた。数百年前から、太陽系を脱出して新しい開拓地を求める計画が進められているのも、そのためである。太陽文明圏のこうした動きを一抹の不安を持ってながめていたのは、銀河のオリオン腕を中心に勢力を持った宇宙文明連合体であった。彼等の秘密調査によって、人類は好戦的性格を持ち戦争をその発展の原動力としているという事が知られていたもので、連合体への侵略を心配したのである。そこで太陽文明圏に対して自らの文明の優位性を見せつけることによって、文明の無批判な発展にまかせている人類

に警告することになり、近年実用化されたグレーザー砲が使われることになったのである。

グレーザー砲とは、重力波レーザーを利用した兵器で強力な重力波を発生するレーザー機構を多数含む多体系と、重力レンズの役割をするブラックホールの多体系から構成されている。この装置を制御して、任意の地点に重力波を集めることができるのである。重力波は、重力の特徴である非線型効果によって、自分自身を自身の重力で引きとめることができるので、ある限界を超えて重力エネルギー密度が大きくなると、重力波自身で重力崩壊を起こしてブラックホールを作ってしまう。グレーザー砲とは、何もなかった空間に、突然ブラックホールを作ってしまう恐るべき兵器なのである。

リーマン曲率の増加の行きつく先は、文明圏ごとブラックホールにのみ込まれてしまうことを意味している。さあ、人類はこの警告に対していかなる反応をするのであろうか。
(グラビティーン)

◇ 3 月 の 天 文 暦 ◇

日 時	記 事
3 7	上 弦
4 14	月 最近
6 7	啓 蟄 (太陽黄経 345°)
10 5	天王星 留
10 6	望
17 14	月 最遠
18 2	下 弦
21 8	春 分 (太陽黄経 0°)
25 19	朔
29 15	月 最近
30 2	海王星 留
31 20	火 星 衝

◇ 3 月 の 日 月 惑 星 運 行 図 ◇

